令和８年５月31日

大阪市長　様

指定管理者　一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ
所　在　地　大阪市東住吉区長居公園１－１
代　表　者　代表理事 村山　勉

令和７年度
長居球技場（ヨドコウ桜スタジアム）
管理業務に関する事業報告書

1 施設の運営状況

（1）開館時間　午前９時から午後９時

（2）休館日　月曜日（休日に当たるときはその翌日）及び 12 月 28 日から翌年１月４日まで

（3）臨時開館・休館

・臨時開館　定期的な自主事業（サッカースクール、桜カレッジ等）

・臨時休館　特になし

2 運営体制

（1）職員の配置状況

場長（施設責任者）１名

施設運営グループ　５名

事業グループ　　５名

（2）職員に対する研修実施状況

5 月 30 日　サステナビリティ・SDG s 研修

6 月 24 日　ロジカルライティング：ビジネス文書の作成研修

8 月 26 日　人権研修

9 月 11 日　生成 AI 研修

12 月 6 日　組織理念研修

2 月 20 日　個人情報研修

（3）個人情報保護への取り組み状況

・申込書など個人情報が記載されている書類については、施錠保管・持ち出し禁止

・個人情報を取り扱うパソコンはパスワードで管理

・従業員に対する個人情報に関する研修を実施

3 利用状況

施設名	項目	利用可能件数
スタジアム本体	使用可能件数	307 件
	使用件数	56 件
	率（%）	18.2%
スタジアム人工芝（教室利用）	使用可能件数	307 件
	使用件数	76 件
	率（%）	24.8%
スタジアム人工芝	使用可能件数	307 件
	使用件数	45 件

（その他利用）	率（%）	14.7%
北練習室	使用可能件数	1,596 件
	使用件数	1,319 件
	率（%）	82.64%
南練習室	使用可能件数	1,596 件
	使用件数	1,369 件
	率（%）	85.78%
バックスタンド会議室（大中小）	使用可能件数	1,596 件
	使用件数	690 件
	率（%）	43.23%
バックスタンド会議室（大奥）	使用可能件数	1,596 件
	使用件数	682 件
	率（%）	42.73%

※スタジアム本体･･･休場日（月曜）、年末年始は使用可能件数から除外しています。
※南北練習室、会議室･･･休場日（月曜）、年末年始および工事休場期間（12/22～2/16）は、使用可能件数から除外しています。

4 施設を活用した事業の実施状況

（1） 各種イベント（新規）

事業名	定員	曜日・期間	時間	受講料	受講者数
ちっびこスポーツフェスタ	60 名	11 月 29 日（土）	9:00～12:00	無料	47 名
スタジアムヨガ 2025 ～Wellness Fest～	300 名	10 月 19 日（日）	17:00～19:00	1,000 円～ 2,000 円	220 名
セレッソ大阪チアダンススクール 強化合宿	60 名	11 月 15 日（土） ～16 日（日）	12:00～ 翌 12:00	11,000 円	56 名

（2） 各種教室（継続）

スクール名 （2026.3 月時点）	2025.4～2026.3 延べ参加人数	2025.4～2026.3 実施回数	1 回平均 参加人数
ヨーガスクール①～③	1,274 人	49 回	26 人
ヨーガスクール土曜日コース	384 人	48 回	8 人
キッズチアダンススクール　A～C	1,488 人	48 回	31 人

キッズチアダンススクール　Dクラス	672 人	48 回	14 人
卓球スクール	432 人	24 回	18 人
バドミントンスクール ・初心者／経験者コース ・キッズコース	1,224 人	24 回	51 人
セレッソ大阪ダンススクール（ジャズヒップホップ） ・幼児コース ・小学生低学年コース ・小学生高学年コース ・一般コース	1,127 人	49 回	23 人
セレッソ大阪ダンススクール（ヒップホップ） ・入門コース	637 人	49 回	13 人
ハンドボールスクール	1,215 人	45 回	27 人
セレッソ大阪バドミントンスクール ・小学生高学年コース ・中学・高校生コース ・エリートコース	1,161 人	43 回	27 人
セレッソ大阪大人のバドミントンスクール	430 人	43 回	10 人
セレッソ大阪「イキイキはつらつ塾」	264 人	24 回	11 人
セレッソ大阪「ランニングクラブ BRISA」	648 人	24 回	27 人
ヨガスクール火曜日コース	630 人	45 回	14 人
ピラティスレッスン	36 人	12 回	3 人
桜カレッジ「倭太鼓飛龍教室」	48 人	24 回	2 人
桜カレッジ「習字・書き方教室」	680 人	40 回	17 人
桜カレッジ「そろばん教室」	4,136 人	88 回	47 人
桜カレッジ「プログラミング教室」	1,620 人	90 回	18 人
桜カレッジ「個別指導アップ学習会」	5,460 人	140 回	39 人
合計	23,566 人	957 回	

（3）利用促進策の実施状況

・無料体験会の実施

・J リーグ、WE リーグ試合開催時での広告宣伝

・近隣へのチラシ配布

・ホームページ、ＳＮＳでのプロモーション
・近隣の幼稚園や法人への営業
・CM 撮影等のロケーション地としての活用
・交通広告（大阪メトロ、京阪電鉄）を活用した広報

5 利用者からの要望、苦情、トラブル対応事例（主なもの）とその対応状況

・夏場、バックスタンドコンコース内が気温・湿度が高く暑すぎるという声に対して、冷風機を試合開催時に設置した。
・北スタンド西側および南スタンドの階段について、「夜間は暗くて危ない」との利用者からの意見を受け、蓄光式のすべり止め材を設置し、転倒防止および夜間の視認性向上を図った。
・車いす席について、「スロープ幅が狭く上りづらい」「スペースが狭く取り回しが困難」との利用者からの意見を受け、スロープおよび観覧エリアの拡張を実施し、利便性および安全性の向上を図った。
・騒音対策として、メインスタンド南北に計 8 基の常設天井スピーカーを増設（約 2,200 万/税別）したことにより、フィールド周辺に設置していた仮設スピーカーを廃止し、近隣への音漏れ低減を図った。

6 利用者の意見や満足度の把握・反映の取り組み状況

・アンケート取得により、利用者意見を把握。（別紙１）
・取得した意見をより良いサービス提供、ハード整備に反映させる。
・経年劣化による故障や不備には随時対応している。

7 建物および付属設備の維持保全の実施状況

（１） 主な補修箇所

・令和 7 年 5 月　西スタンド 1 階ラウンジ FIX ガラス修繕
・令和 7 年 10 月　西スタンド監視カメラ用 LAN ケーブル修繕
・令和 7 年 11 月　東スタンド 5 階放送室空調修繕

（２） その他特記事項

・東スタンドの観客席内の複数個所に雨漏りあり。大阪市へ調査依頼済み。
・東側 1 階正面入り口の床面が膨張により隆起している。

8 運転監視及び保安業務の実施状況

「巡視点検作業実績表」参照（別紙２）

9 収支状況

（1）収入　　（単位：円）

区　分	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率
利用料金収入	129,811,000	29.28%	188,785,562	29.42%	58,974,562	145.43%
事業収入	289,300,000	65.26%	338,432,371	52.74%	49,132,371	116.98%
その他収入	24,200,000	5.46%	88,152,705	13.74%	63,952,705	364.27%
業務代行料	0	0.00%	0	0.00%	0	-
精算金	0	0.00%	26,314,078	4.10%	26,314,078	-
合計･･･①	443,311,000		641,684,716		198,373,716	144.75%

（2）管理運営経費　　（単位：円）

区　分	計画	構成比率	実績	構成比率	実績-計画	計画進捗率
人件費	48,823,000	12.43%	48,286,998	9.56%	△ 536,002	98.90%
事務費	66,497,000	16.92%	28,391,317	5.62%	△38,105,683	42.70%
管理費	123,200,000	31.36%	201,048,706	39.81%	77,848,706	163.19%
光熱水費	35,750,000	9.10%	39,067,621	7.74%	3,317,621	109.28%
事業経費	27,253,000	6.94%	39,818,642	7.88%	12,565,642	146.11%
その他経費	91,370,000	23.25%	148,450,894	29.39%	57,080,894	162.47%
合計･･･②	392,893,000		505,064,178		112,171,178	128.55%

（3）収支差　　（単位：円）

区分	計画	実績	計画比
収支差①-②	50,418,000	136,620,538	86,202,538

（4）事業報告書に記載されている収支状況と収支計画書の収支状況を比較して、差異が生じている場合の原因（100 万円または±10%以上の乖離がある場合）

【利用料金収入】

・なでしこリーグがアマチュアからプロ化したことによる収入の増加

・プロ興行の試合数増加に伴う収入の増加

【事業収入】

・当初計画より広告収入の増加

【その他収入】
・当初計画に想定していなかった、イベント時の広告収入の増加
【精算金】
・12 月 22 日から 2 月 15 日給排水設備その他改修工事による休業時営業損失補填金
【事務費】
・物価の高騰による増加
【管理費】
・機械設備保守点検および清掃スタッフの外注人件費の高騰、リース物品の増加
【光熱水費】
・物価の高騰による増加
【事業経費】
・当初計画より教室数の増加、講師費用のコスト増加
【その他経費】
・減価償却費の増加

10 管理経費節減の取り組み状況

・内部書類のペーパーレス化の推進
・再生エネルギーの活用（太陽光発電、雨水再利用）
・リモート会議推進による移動経費節減
・カラーコピーの原則禁止
・使用エリア以外の消灯指示
・エアコン温度設定の省エネ意識強化
・クールビズ及びウォームビズ推進によるエネルギーコスト削減

11 その他特記事項

サッカーJ リーグ（21 試合／カップ戦・天皇杯含む）、WE リーグ（13 試合／カップ戦含む）、なでしこ JAPAN 国際親善試合（1 試合）、ラグビーリーグワン（2 試合）、アサヒスーパードライ CHALLENGE MATCH 2025（ラグビー国際親善試合・1 試合）、全国高校サッカー選手権（1 試合）など、注目度の高い試合を多数開催し大きな収益を確保することができた。

また、高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2025 関西や小学生サッカー大会 2025 年 4 種の集い（シーズン開会式）Presented by YANMAR」等を開催し、プロが使用する天然芝を利用・体験する機会を提供することで、スタジアムをより身近に感じてもらい、次世代を担う層への普及・育成につながるイベント誘致を実現することができた。

これらの取組により、大阪におけるスポーツ文化の発展に寄与すると共に、教室事業の拡充、地域貢献イベントの実施、サステナビリティ活動の強化を通じて、地域及び社会に根差した施設運営を図ることができた。

12 当該施設を管理代行した今年度の総括及び自己評価

本年度は、Jリーグおよび WE リーグに加え、なでしこ JAPAN 国際親善試合や全国高校サッカー選手権等の各種大会を誘致することにより、市民の皆様に「みるスポーツ」の機会を提供し、地域におけるスポーツ振興に寄与することができた。スポーツ興行の積極的な誘致により観客数も増加傾向にあり、施設使用料収入に加え、売店や自動販売機収入などの付帯収益の増加にもつながった。

また、人工芝エリアや諸室、練習室などを活用したイベントやスポーツ教室、桜カレッジの開催を積極的に実施するとともに、東住吉区内幼稚園を対象とした天然芝開放デーの実施や健康診断会場としての施設提供など、収益の確保と地域貢献の両立を図った。さらに、ヤンマースタジアムで開催された「スタジアム盆踊り」において、モルックや和太鼓による参加・協力を行い、指定管理者間での連携強化にも取り組んだ。

一方で、管理・維持面においては、旧棟である東スタンドを中心に経年劣化や老朽化が顕在化しており、小規模修繕が継続的に発生している状況である。これらに対しては、利用者および来場者の安全・安心を最優先に、限られた予算の中で適切な対応を行った。また、利用者ニーズを踏まえた設備投資として、音響スピーカーの増設や車いす席の改修を実施し、利便性および快適性の向上に努めた。

総合的には、各種競技およびイベントを事故なく安全に運営し、主催者から一定の評価を得ることができた。また、一般利用の増加も見られるなど、施設運営は概ね良好であった。次年度においても、引き続き利用者ニーズの的確な把握とサービス向上に努めるとともに、多くの人々が安全かつ快適に利用できる魅力あるスタジアム運営を推進していく。

13 次年度に向けた課題及び目標

主催者、競技者、観戦者、そして地域の皆様にとって、より一層愛されるスタジアムとなるべく、スタジアムの価値向上に資する設備投資および地域貢献活動（新規スポーツスクールの開講、地域貢献イベントの継続的な実施、スタジアムの美化および景観向上など）のさらなる充実を図っていく。また、芝生の堆肥化、再生可能エネルギーの活用など、環境に配慮した施設運営を一層推進し、公の施設として社会に貢献できる持続可能な運営体制の構築していく。